

令和6年度 第4回 湖西市子ども・子育て会議 会議録

1 と き 令和7年2月4日(火) 午前10時00分～午前10時50分

2 ところ 湖西市役所3階 委員会室

3 出席者 委員(氏名五十音順)

会長 常葉大学 健康プロデュース学部 柴田俊一

副会長 湖西市保育士会 杉江玲子

公募委員 石田祐子

湖西市シルバー人材センター 大田広美

トヨタバッテリー株式会社 河合梓

公募委員 榊原朝子

公募委員 柴田陽加

湖西地区労働者福祉協議会 田中雅也

湖西市校長会 藤井千帆

(欠席)

湖西市公立幼稚園PTA連絡協議会 上野雄一

事務局

こども未来部 部長 鈴木祥浩

こども未来部 こども政策課 課長 長田裕二

課長代理 尾崎威志

主査 小笠原茜

こども未来部 こども未来課 課長 野原千鶴

課長代理 岡部亜紀

係長 市川由起子

係長 山下貴子

係長 岡本桂子

教育委員会 教育総務課 課長 戸田昌宏

主任 味岡晴香

教育委員会 幼児教育課 課長 岡部考伸

係長 古畑孝祐

## 4 開 会

(事務局 長田)

定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第4回湖西市子ども・子育て会議を開会いたします。

会議の開会にあたりまして、こども未来部長の鈴木からご挨拶申し上げます。

(こども未来部 鈴木部長より開会のあいさつ)

(事務局 長田)

まず、本日使用する会議資料をご説明いたします。

机上配付している資料として、A4の「次第」、裏面が「委員名簿」となっております。

A4の「利用定員の設定について」、ヒーローズこさいこども園、市立岡崎幼稚園、市立新居幼稚園、きりつ保育園の4枚です。

事前送付の資料に修正をしたものとして、A3サイズの「湖西市こども計画 取組目標一覧」が1枚。

A3の「湖西市こども計画（案）パブリックコメント応募意見に対する回答一覧」。

A4の「パブリックコメント時のこども計画（案）からの変更点一覧」。

「いじめ防止対策啓発イベントのチラシ」については、最後に事務局から説明いたします。

事前送付の「湖西市こども計画（案）」の冊子が1部ございます。

傍聴者の皆様には、一式配布しております。

過不足はございませんか。それでは会議を進めさせていただきます。

(マイクの操作説明)

本日の会議は、湖西市子ども・子育て会議運営要領第4条に基づき、公開させていただいております。本日傍聴される方は、傍聴受付でご確認いただいた会議運営要領第5条に基づく注意事項を守って傍聴いただきますようご協力をお願いいたします。

続きまして、本日の会議の成立についてご報告いたします。本日は全委員10名のうち、9名の出席をいただきましたので過半数の出席を得ております。本会議条例第5条第2項により会議が成立していることをご報告させていただきます。

本日の会議の目的と目標について先にお伝えさせていただきます。

議題（1）の「特定教育・保育施設の利用定員の設定について」は、特定教育・保育施設の利用定員についてのご意見をいただくものです。

議題（2）の「湖西市こども計画最終案について」は、パブリックコメントを踏まえた最終案の変更点を確認していただき、最終案の承認をいただくこととなります。

議題（３）の「湖西市こども計画の評価と効果検証の方法について」は、湖西市こども計画の評価と効果検証の方法を説明させていただきます。

それでは、ここから会議の進行を柴田会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

（柴田会長）

それでは、次第に沿って議題を進めてまいります。

議題（１）「特定教育・保育施設の利用定員の設定について」、幼児教育課よりご説明をお願いします。

（事務局 幼児教育課）

利用定員の設定について、ご説明いたします。

子ども・子育て支援法第３１条第２項、第７２条第１項第１号において、幼稚園・保育所・こども園等の利用定員を定める場合、子ども・子育て会議の意見を聴くことと規定されておりますので、議題とさせていただきます。

まず、前回の会議において審議いただきました、ヒーローズ湖西こども園について、県知事認可の申請をおこなう過程で、株式会社ヒーローズホールディングスから定員を見直したいという申し出がありましたので、あらためて今回の議題とさせていただきます。変更点は、３、４、５歳児の各保育定数を３０人から１人減の２９人とし、０歳児の保育定数を１２人から３人増の１５人とするものです。２号、３号の保育認定の総数は変わらず１３８人となります。

続きまして、公立こども園の利用定員の設定についてです。

こども計画の９６ページをご覧ください。入所待ち児童の解消に向けた取組として、「対策１ 公立園の定員拡充」を実施することに関連して、岡崎幼稚園において、１・２歳児の各保育定数を１２人から３人増の１５人とし、２・３号の保育認定の総数は６人増の９９人となります。

新居幼稚園では、１歳児の保育定数を１２人から３人増の１５人とし、２歳児の保育定数を１９人から１人増の２０人とし、４・５歳児の保育定数をそれぞれ２７人から２人減の２５人とするものです。２・３号の保育認定の総数は変わらず１１９人となります。

また、各公立こども園の幼稚園部においては、在籍している児童数や入園の見込み数を考慮して、著しく過剰となっている教育認定の定数を、岡崎幼稚園では６０人減じた１２０人に、新居幼稚園では５１人減じた１０５人とするものです。

令和６年１２月２５日付けで、小規模保育事業所である、きりつ保育園から定員変更の届け出がありました。０歳児の保育定数を５人から４人減の１人とし、１・２歳児の各保育定数を７人から２人増の９人とするものです。３号の保育認定の総数は変わらず１９人となります。

いずれの変更においても、令和7年4月1日からとなり、待機児童・入所待ち児童の解消につなげていきたいと考えております。

(柴田会長)

ありがとうございました。ただいまご説明がありました各園の利用定員の設定について、ご質問等がございますか。よろしいですか。

それでは、この議題については協議を終了いたします。本件につきまして、事務局は県への報告など法律に基づいて適切な処理をお願いいたします。議題(1)の審議を終了します。

続きまして、議題(2)「湖西市こども計画最終案について」です。パブリックコメントに対する市の方針も含めて、計画最終案の説明をこども政策課よりお願いします。

(事務局 こども政策課)

資料「湖西市こども計画(案)パブリックコメント応募意見に対する回答一覧」をご覧ください。

12月2日から12月27日までの約1カ月間、市公式ウェブサイトと市内9カ所の公共施設に計画案を設置して、パブリックコメントを実施したところ、4名の方からご意見をいただきました。一部、こども計画や市のこども施策に関係のないご意見を除き、53の質問に対して市の考え方としての回答をご用意しました。ご意見により計画に変更が生じたものについて、説明をさせていただきます。

資料1ページ目、計画書では11ページの出生数の推移のグラフについて、横軸の単位と掲載データの不足についてご意見をいただきました。年度と年が混在するなどあり、単位は誤りであったため訂正いたしました。年次データについても、令和4年と5年のデータを追加いたしました。なお、令和5年の出生率については、市として公式に発表しておりませんので、未掲載としております。例年5月以降くらいに県のデータに基づいて発表されます。

資料は2ページ目、計画書では78ページ、地域コーディネーターに関する取組が掲載されていないのではないかという、という趣旨のご意見です。地域コーディネーターが連絡調整を担い、学校と地域住民や地域ボランティアなどの関係諸団体が連携する「学校支援地域本部」という事業があります。この事業が掲載されておりましたので、追加いたしました。

次に資料3ページ目、計画書では93ページ、「こどもの人口推計」に関するご意見をいただきました。3つのご意見のうち、1つ目と3つ目について修正がありました。

1つ目は、推計人口の算出方法について、0歳児のみ異なる計算方法で計算していましたが、その説明が漏れていたため、補足をいたしました。

1つ項目を飛びまして、3つ目は計算間違いについてのご指摘をいただきました。計算に使用したデータの記載が誤っておりました。平成31年度から令和6年度までのデータを基にしておりましたが、表記が令和2年度からとなっておりますので、訂正いたしました。

パブリックコメントでいただいたご意見に基づいて修正した点は以上となります。

ご意見をいただいた4名のうち1名の方から特に教育・保育の見込み量についてさまざまなご意見をいただきました。ご意見の内容もかなり細かくなっておりますが、真摯に回答させていただいたと思っております。これらのご意見と回答は後日ウェブサイトにて公開させていただきます。

事務局と関係部局による計画書の最終チェックにより、パブリックコメント時の計画書から修正があった箇所についてご説明いたします。

資料「パブリックコメント時のこども計画（案）からの変更点一覧」をご覧ください。表現等のみの修正については説明を省略いたしますので、のちほどの質疑応答でお願いいたします。

計画書12ページ、ひとり親世帯の推移のグラフの対象年齢の表示が誤っておりましたので、18歳未満に訂正いたしました。また、グラフの平成22年、27年のグラフは第2期子ども子育て支援事業計画に掲載されていたものをそのまま転用していましたが、出典元の国勢調査の資料を確認したところ、18歳未満のグラフについて、世帯数をグラフ化するべきところ、人数でグラフ化されていたことがわかりましたので、修正いたしました。

計画書66ページ、事業39「こども家庭センターにおける切れ目のない継続的な支援」に「妊婦等包括相談支援事業の実施」を追加いたしました。伴走型相談支援事業と呼ばれていたものが新たに制度化された取組です。

事業40「乳幼児検診等の推進」に「新生児聴覚検査」を追加いたしました。これは従来からある取組ですが、未掲載でしたので追加いたしました。

以前は事業40として、「予期せぬ妊娠に悩む若年妊婦等への支援」という項目がありましたが、59ページ、事業27に全く同じ項目がありましたので事業40を削除いたしました。これにともない事業番号が40番以降変更となっております。

計画書71ページ、事業48「学校を核とした地域づくりの推進」に、パブリックコメントを受けて、取組番号146「学校支援地域本部」を追加いたしました。これにともないそれ以降の取組番号が変更となっております。

計画書95ページ、「教育・保育の量の見込みと提供体制の確保」につきまして、国によって子ども・子育て支援事業計画に掲載が必須とされている3号認定の保育利用率が未掲載でしたので、追記いたしました。

108ページ、4「教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制の確保」、5「子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保の内容」はどちらも掲載が必須とされていますが、未掲載でしたので追記しました。

以上、パブリックコメントで応募のあった意見と、それに対する市の考え方・回答とパブリックコメント時の計画（案）からの変更点をかいつまんで説明いたしました。パブリックコメントと変更点について、取り上げてご説明した場所も含めて、気になるところがございましたらご意見ご質問いただければと思います。

(柴田会長)

ありがとうございました。ただいまご説明がございました「湖西市こども計画最終案」について、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいですか。

「湖西市こども計画最終案」について、承認してよろしいでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(委員一同挙手)

(柴田会長)

ありがとうございます。

議題（２）の審議を終了いたします。

今後、計画案がどのように進行していくかについて、事務局からご説明をお願いいたします。

(事務局 こども政策課)

本日ご審議いただいた計画案は、今週、静岡県知事宛に協議書として提出いたします。

令和7年3月上旬頃に、県から知事名の回答書が届く予定となっております。その後、必要な手続きを取り、こども計画の公表を3月下旬に予定しております。

計画書の冊子や概要版の作成を進めておりますので、委員の皆様にも出来次第お送りいたしますので、ご確認をお願いいたします。

(柴田会長)

ありがとうございました。

次に、議題（３）「湖西市こども計画の評価と効果検証の方法について」、こども政策課よりご説明をお願いします。

(事務局 こども政策課)

計画書の109ページをご覧ください。

第6章「計画の推進体制」です。前回の会議で、新たな会議体の設置も含めて検討している旨お伝えしましたが、現時点で事務局としては会議体の設置は見送ることとして、こども計画についての評価・効果検証も含めて、この子ども・子育て会議で議論させていただく予定であります。一方で、109ページ、2「計画の進行管理」に記載のとおり、こども施策推進のため、こども・子育てに関する各種行政機関や民間団体等との有機的な連携体制を築いていきたいと考えております。

こども基本法では、医療・保健・福祉・教育・療育等に関する行政の各部署や、こどもに

関する支援をおこなう民間団体との連携を求める条文がございます。この会議では従来の子ども・子育て支援事業計画に関係の深い幼児教育課、教育総務課、こども未来課の職員が出席させていただいておりますが、学校教育を担当する学校教育課、障がい者福祉などを幅広く担当する地域福祉課などを含め、これまでこども施策全般に関する行政側の連絡会議のようなものもありませんでした。また、近年、不登校や発達障がいなどを含め、こどもの支援をおこなう民間団体も複数設立されています。今回計画した施策を、市民ニーズを捉えながら推進するため、これら関係者との連携方法について検討・準備を進めてまいりたいと考えております。

また、これまで計画策定時の5年ごとにのみ実施していた、アンケートによる子ども・子育てに関する実態調査について、規模は小さくなりますが、毎年実施していきたいと考えております。さまざまな形で各所から意見聴取をおこない、市民ニーズを捉えながらPDCAサイクルを確立してまいります。

計画の評価・改善については、第4章に掲載しております全238の取組みについて、毎年所管課へ調査をおこない、A3の資料「取組目標一覧」の目標に対する実績を自己評価させていただきます。また、計画書90ページに掲載しております計画全体の評価を行う数値目標についても進捗を確認してこの子ども・子育て会議にお諮りさせていただきますので、効果の検証の他足りないところの改善方法についてもご議論いただければと思います。

なお、本こども計画は令和7年度からが計画期間となりますので、令和7年度中に計画書に基づいて実施した成果について、令和8年度に評価することとなります。

令和7年度の会議では、従来の第2期子ども・子育て支援事業計画に基づいて実施された、令和6年度中の事業について評価していただくこととなりますので、ご承知いただければと思います。

評価方法等の詳細につきましては、来年度ご提案しご議論いただきながら決定してまいりたいと思っております。

以上で説明を終わります。

(柴田会長)

ただ今、説明のありました、湖西市こども計画の評価と効果検証の方法について、何かご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

大きな計画で、たくさんの事業が関わっておりますので、一つ一つの検証が行われるというのはなかなか難しい問題だと思っています。行政の中での自己評価という表現もありましたが、そこも含めて市民の方が、計画が動いたから何がどう変わったのが実感できる要素があればいいと思いました。アンケートもしていただけのようですが、委員の皆様はこの計画の推進がちゃんと進んでいるのかということ意識していただいて、ご意見をいただければと思います。

何かございますか。よろしいですか。

それでは、議題（３）の審議を終了したいと思います。

以上で本日の議題についての審議は終了いたしました。

大変貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。会議の円滑な進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

（事務局 長田）

ありがとうございました。

本日ご確認いただいた議題については、今後も皆様のご意見等を踏まえて進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次第３「その他」について、事務局から説明をいたします。

（事務局 小笠原）

事務連絡をいたします。

令和６年度に開催する子ども・子育て会議は今回で最後になります。ご多忙なところご出席いただきまして、ありがとうございました。

今年度は、こども計画策定のため、皆様からさまざまなご意見をいただきました。あらためてお礼を申し上げます。

皆様の任期は、昨年度から３年間でお願いしていますが、それぞれの役職で、今年度で任期が終わりになるなど来年度変わる方がいらっしゃいましたら、事務局までお伝えいただければと思います。来年度も引き続き委員を引き受けてくださる予定の方につきましては、今後ともよろしく願いいたします。

来年度の会議の開催時期は、現時点では未定ですが、決定しましたら速やかにメールでご連絡をさせていただきます。

本日の委員報酬については、登録の口座に来月末までに振り込みをさせていただく予定です。委員報酬について、個別の対応をご希望の方は会議終了後に事務局までお申し出ください。

ここまでの説明で何かご質問等ございますか。

こども政策課では今年度から、いじめ防止対策を進めております。それに関して、３月２日にイベントをおこないます。公益社団法人子どもの発達科学研究所の所長による基調講演が主な催しとなります。よろしければご参加いただければと思います。また、後日ウェブサイト動画を３月末までご覧いただけます。

（柴田会長）

和久田先生のご紹介をさせていただきます。浜松市のいじめ問題第三者委員会でご一緒させていただいています。元は教員で、この分野の研究を進められていて、全国のいじめ問題の委員を多く務めておられます。いじめ問題や教育問題全般について優れた知見をお持ち

ちの先生ですので、ぜひお聞きいただけるといいと思います。

(事務局 小笠原)

ありがとうございました。「その他」については以上です。

(事務局 長田)

計画について、またその他の子育て等について、ご意見ご質問があればお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

いつでもこども政策課の方にご意見ご質問をいただければと思います。

こども計画策定にあたりまして、昨年度のアンケート調査から2年間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

従来の子ども・子育て支援事業計画から、こどもに関する施策全般にわたる今回のこども計画へと幅広い計画を策定するのが初めてのことで、私どもも大変戸惑うことが多くありましたが、委員の皆様のご理解とご協力で計画を策定することができました。よく言われることですが、計画は策定して終わりではなく、今後この計画をどのように実行していくかが大事となりますので、市全体でこどもたちのためにより良くなるように取り組んでまいりたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

それでは以上をもちまして、令和6年度第4回湖西市子ども・子育て会議を閉会します。ありがとうございました。